

平成 28 年度 岐阜県立東濃高等学校「学校評価アンケート」の結果

【アンケート結果の表記方法】

- ①生徒：肯定的な回答 A 及び B と否定的な回答 C と D が 50%以上、わからないの回答 E が 25%以上を網掛けで示した。
- ②保護者等：肯定的な回答 2/3 以上（67%）と、否定的な回答 C 及び D 1/3（33%）以上、わからないの回答 E が 1/4（25%）以上を網掛けで示した。

1 アンケート結果より（生徒）

全体的には各評価項目に対して、A「よくあてはまる」B「ややあてはまる」と肯定的な回答をした生徒が多くいた。評価項目が全部で 38 項目あったが、すべての項目で A と B の肯定的な回答が 50%得られた。

27 年度と 28 年度の集計結果を比較すると次のような成果と課題が考えられる。

〈課題〉

●評価項目 (16)「本校は、一人一人の理解や能力に応じた指導を行っている」(A と B59%)

27 年度と比較すると肯定的な回答は全体でポイントがやや上がっている。しかし、否定的な回答が 30%あった。学年で見ると 1 年生は肯定的な回答をしている生徒が多いが、2 年生、3 年生で否定的な回答をした生徒が多かった。

1 年生は、中学校の「学び直し」も含めて、基礎的な学習内容で授業が進められていることで授業内容を理解できている割合が 2 年生、3 年生に比べて高くなったことで、肯定的な回答が多かったと考える。上級生になれば当然授業内容も難しくなるため、基礎的な学力が定着していないと授業での内容が理解できないという状況になってしまう。そのことが 2 年生、3 年生の否定的な回答につながったと考える。

1 年生に限らずどの学年でも評価の工夫、どの生徒にも分かる授業の工夫など、生徒一人一人の学力向上のために実践を進めている。今後、さらに継続してこつこつと学習に取り組むことができる生徒の姿を願って、朝学習の充実、学習週間の充実、家庭学習の指導など生徒の学力向上のための取り組みに努めていきたいと考える。

●評価項目 (8)「本校は保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる」(A と B50%)

A と B の回答が 50%で昨年よりポイントは上がったが、昨年と同様に E「わからない」と回答した生徒が 25%とまだ多いことから、年 2 回の三者懇談はもちろんであるが、生徒の様子について気になることだけでなく、良さを電話で連絡することや、心配な時には家庭訪問を行うなど、常日頃から保護者との信頼関係づくりにも今後も全職員で取り組んでいくことが重要である。

●評価項目 (28)「本校では、部活動が活発に行われている」(A と B59%)

昨年度この評価項目の A と B が 39%と低い回答であった。今年度の回答は 59%とポイントは上がってきた。しかし、否定的な回答も 34%であることから、積極的に参加できない生徒、途中でやめてしまう生徒また、何も所属しない生徒も多いことから、強い意志をもって活動する生徒が少ないのが現状である。文化系の部活動に逃げってしまう傾向もまだみられる。こうした実態については生徒も自覚していることがこの評価ポイントとなっていると考える。

しかし、昨年度にくらべて肯定的な回答のポイントが高くなったことは嬉しいことである。1 年生の入学により野球部が夏の県大会に出場、ウエイトリフティング競技で全国大会出場、卓球部の東海大会出場など活躍した生徒も出てきた。また、バレー部やバスケット部など毎日継続した練習ができてきている部もあり今後が楽しみである。

〈成果〉

- 評価項目 (26)「本校は、外からの講師のお話や様々な体験を積むなど、授業以外の学習の機会を多く設けている」(H28A と B80% H27A と B70%)

本校で実施している演劇表現ワークショップ、キャリア教育プログラムや地域類型の授業など、学校行事、学年行事や授業においても専門の外部講師から学ぶ活動が実施されていることを生徒自身も感じていることが肯定的な評価につながったと考える。また、校外に出て活動する内容も位置付けていることも大きく評価のポイントを上げることにつながった。

○評価項目 (21)「本校は、地域と連携した活動に取り組んでいる。」(MS リーダーズ活動、御嵩町の行事参加、願興寺清掃等のボランティア活動など) (H28A と B84% H27A と B79%)

生徒会が中心となって実施している MS リーダーズ活動、願興寺清掃活動では部活動単位での参加など毎年ボランティアで参加する生徒が増えている。また、地域行事などにも積極的に参加し活躍する生徒も増えてきた。こうした全校の生徒の姿から評価したことで今年のポイントよりさらに高い評価となった。今後もリーダーとなって活躍していける生徒の育成に継続して取り組みたい。

2 アンケート結果より (保護者)

評価項目 39 のうち 5 項目が肯定的な回答 2/3(67%)を得ることができなかったが項目によって昨年よりもポイントが上がっている項目もあり全体的には保護者の方の学校に対する理解を感じられる結果となった。

〈課題〉

●評価項目 (20)「学校は個々の生徒に対して適切な教育相談を行っている」 (H28A と B66% H27A と B79%)

●評価項目 (21)「学校はいじめや差別を許さず、厳しく対応している」 (H28A と B58% H27A と B72%)

●評価項目 (22)「学校は体罰の防止に努めている」 (H28A と B61% H27A と B72%)

上記の 3 項目は生徒指導に関わる項目である。どの項目も評価のポイントは下がっているが 3 つの項目とも「わからない」の回答が 1/4(25%)あったため、校内での生徒への指導について正直なところ「よく分からない」と感じる保護者があることで肯定的な回答のポイントが下がったと考える。保護者が来校される機会をとらえて現在の生徒の様子を話したり資料を配布するなどの情報発信に努めることが重要である。また、常日頃から保護者との連絡を密にするなどして対応し、信頼関係を築いていくことに努めたい。

〈成果〉

○評価項目 (28)「学校は、子どもの成長の糧となるような学校行事を行っている」 (H28A と B82% H27A と B79%)

○評価項目 (31)「学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している」 (H28A と B81% H27A と B80%)

項目(28)と項目(31)は学校行事に関わる項目となっている。昨年も肯定的な評価のポイントが高かったが、今年度もさらに肯定的な評価のポイントが上がった項目である。PTAの役員の方を中心に学校行事への理解と協力をいただいています。こうした保護者の理解が学校行事を参観していただける保護者が増えてきたことにつながっている。こうした行事での参観から生徒の良さを感じていただき評価していただけていることが、肯定的な評価につながったと考える。

今後も学校での生徒の様子を情報発信しながら学校行事への理解と協力を依頼し取り組みの過程を大切にして指導援助にあたることで生徒一人一人の成長につなげていきたいと考える。

○評価項目 (38)「学校は、登下校におけるマナー指導に取り組んでいる」 (H28A と B77% H27A と B75%)

職員による駅での登校・下校指導や電車に乗車してのマナー指導等により周りへの迷惑行為も減った。また、地域の方から生徒の良い姿についても連絡をいただくこともある。年々生徒のマナーは向上している。保護者もそう感じていただけていることは嬉しいことである。